

7人制サッカー競技規則

2017/2018年版



日本CPサッカー協会

はじめに

本競技規則は、IFCPF（CPサッカー国際連盟）競技規則を基に日本語版に翻訳したものであり、日本国内においては、日本サッカー協会競技規則（最新版）に準じ、各競技大会実施要綱に基づいて行うものとする。

競技規則に関する付記

CPサッカー（7人制サッカー）に適用されるIFAB（国際サッカー評議会）サッカー競技規則の今回の修正は、現行のIFABサッカー競技規則と合わせて参照されるものとする。現行のIFABサッカー競技規則はホームページよりダウンロード可能です：www.theifab.com

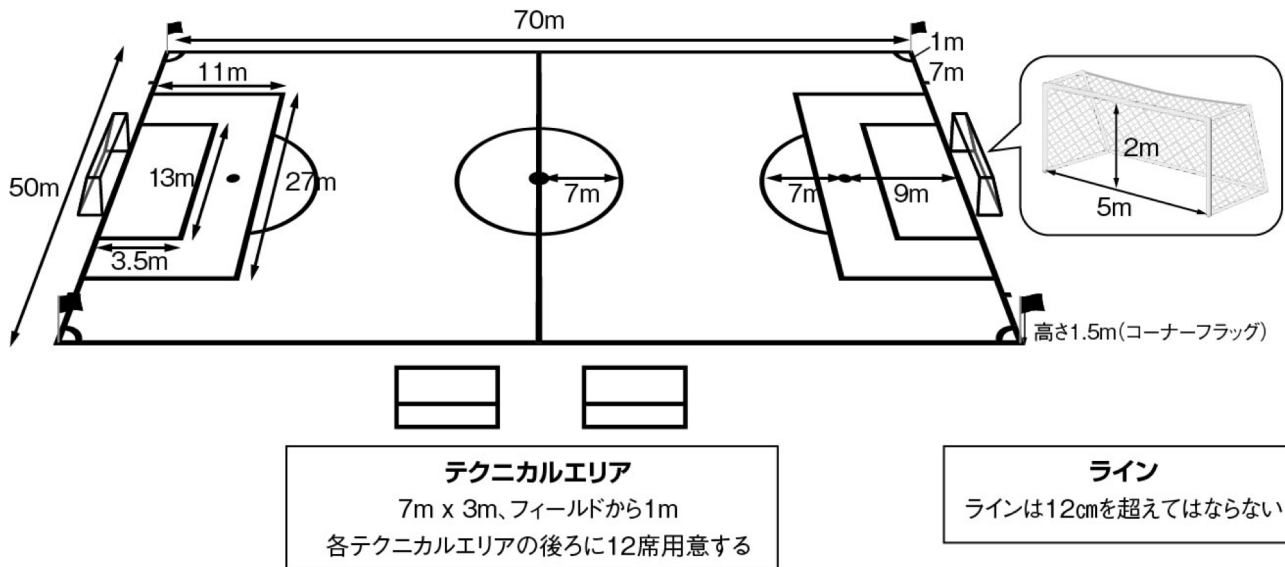
関係する各国サッカー協会の合意が得られており、また、競技規則の基本原則が保持されていれば、16歳未満の競技者、女子、年長者（35歳以上）の試合では競技規則の適用に当たって、以下の一部または

すべてに修正を加えることができる：

- 競技のフィールドの大きさ
- ボールの大きさ、重さ、材質
- ゴールポストの間隔とクロスバーのグラウンドからの高さ
- 試合時間
- 交代

第1条 競技のフィールド

フィールドは第1条で指定されるラインのみフィールド上に描くことができる。人口のフィールド表面が用いられる場合、サッカーのためのラインと異なる色ではっきりと見分けられるならば、その他のラインの使用が認められる。



大きさ：

長さ（タッチライン）： 70m

幅（ゴールライン）： 50m

ゴール：

両ポストの間隔（内側）は5mでクロスバーの下端からグラウンドまでの距離は2mとする。

第2条 ボール

IFAB サッカー競技規則の第2条が適用される。

第3条 競技者

IFAB サッカー競技規則の第3条が適用される。ただし、以下の例外を含む：

- 試合は7名以下の競技者からなる2つのチームによって行われる。そのうち、1名はゴールキーパーとする。いずれかのチームが4名未満の場合、試合は開始も継続もされないものとする
 - IFCPF クラス分け規則 (IFCPF Classification Rules) をいかなる時も遵守しなければならない
- 交代要員：

- いかなる試合においても、最大で3度までの選手交代の機会に、最大で5名までの交代を行うことができる
- 怪我による交代も、1機会として数えられる
- ハーフタイムの交代も、1機会として数えられる
- 両チームが同時に交代を行う場合には、両チームともに1機会の使用として数えられる
- 全ての交代機会を使い切ったチームは、残りの交代を行うことはできない

JCPFA 補足

- ・ 日本国内において、交代要員の数は各競技大会実施要綱に基づく
- ・ 日本国内において、競技者は日本CPサッカー協会公認のクラシッファイヤーによってクラス分けされたFT5～FT8で構成される。国際クラス分けを受けた競技者は、国際クラスを適用する。
- ・ FT8競技者が試合中同時にプレーできるのは1人までとする
- ・ 試合中必ず2人以上のFT5またはFT6の競技者を出場させる。出場できない場合は6人（又は5名）で試合を行う
- ・ 女子の競技者の参加を認める

第4条 競技者の用具

IFAB サッカー競技規則の第4条が適用される。

チームユニフォーム：

- 製造社の識別 (MI)
 - 製造社の商標
 - 競技者が身に付ける場合は最大で30 cm²以内のサイズとする
- 製品テクノロジーの識別 (PTI)
 - いかなるファブリックテクノロジーのタグ（例：ドライフィット、クライマクールなど）のタグ
 - 競技者が身に付ける場合は最大で10 cm²以内のサイズとする
- 配置
 - 製品1つにつきMIを1つ、PTIを1つまでとする

アクセサリー：

- 製品1つにつきMIを1つ、PTIを1つまでとする
- 競技者が身に付ける場合は最大で10 cm²以内のサイズとする

用具：

- 小売消費者市場で販売されているものとする

スポンサーロゴ（試合用ユニフォームを例外とする）

- 最大で300 cm²以内のサイズとする

第5条 主審

IFAB サッカー競技規則の第5条が適用される。

第6条 その他の審判

IFAB サッカー競技規則の第6条が適用される。

第7条 試合時間

IFAB サッカー競技規則の第7条が適用される。ただし、以下を例外とする：

- 試合は、前半、後半ともに30分間行われる
- ハーフタイムは、15分間を超えないものとする

JCPFA 補足

- ・ 日本国内において、各競技大会実施要綱に基づく

第8条 プレーの開始および再開

IFAB サッカー競技規則の第8条が適用される。ただし、以下を例外とする：

- キックオフをするチームの相手競技者は、ボールがインプレーになるまで7m以上ボールから離れなければならない

第9条 ボールのインプレーおよびボールアウトオブプレー

IFAB サッカー競技規則の第9条が適用される。

第10条 試合結果の決定

IFAB サッカー競技規則の第10条が適用される。

第11条 オフサイド

IFAB サッカー競技規則の第11条は適用されない。

第12条 ファウルと不正行為

IFAB サッカー競技規則の第12条が適用される。

第13条 フリーキック

IFAB サッカー競技規則の第13条が適用される。ただし、以下を例外とする：

- ボールがインプレーになるまで、すべての相手競技者は7m以上ボールから離れなければならない

第14条 ペナルティーキック

IFAB サッカー競技規則の第14条が適用される。ただし、以下を例外とする：

- キッカーとゴールキーパー以外の競技者は7m以上ペナルティーマークから離れなければならない

第15条 スローイン

IFAB サッカー競技規則の第15条が適用される。ただし、以下を例外とする：

- 競技者は、下からボールを転がし入れてインプレーとすることができる。転がして入れる場合、ボールはスローワーの手から離れてすぐ（1m以内）にグラウンドに触れなければならない

第16条 ゴールキック

IFAB サッカー競技規則の第16条が適用される。

第17条 コーナーキック

IFAB サッカー競技規則の第17条が適用される。ただし、以下を例外とする：

- ボールがインプレーになるまで、相手競技者は7m以上コーナーアークから離れなければならない